

NUPRI NEWS

Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人
長野都市経営研究所

Vol.63

2021.APR.

NPO法人 長野都市経営研究所

発行/NPO法人 長野都市経営研究所 〒380-0834 長野市大字鶴賀問御所町1289-1 丸本ビル2F TEL 026-235-7911 FAX 026-235-6166 https://www.nupri.or.jp E-mail: nupri@nupri.or.jp

NUPRI 全体懇談会

令和3年2月17日
午後2時30分～

長野ホテル犀北館にて開催

新型コロナウイルスに負けるな！
こんな時こそ胆力を発揮
皆に求められる長野を創造



去る2月17日、「NUPRI全体懇談会」が役員・会員あわせ約40名の出席により、長野ホテル犀北館において開催されました。

前回と同様、新型コロナウイルスの感染防止のために、参加者の安全・安心を第一に考え、会場に入る前に検温、手指消毒用アルコール液による消毒を実施。マスク着用をお願いして、テーブルや席の間隔は飛沫感染が防げる十分な間隔をあげ、室内の換気も徹底して行われました。

岩野事務局長の司会により進行。各部署の代表から今年度の中間報告・活動方針について発表が行われました。また、加藤久雄・長野市長による祝電も読まれ、会場は大いに盛り上がりました。この日は、日本銀行松本支店に新しく赴任された大川真一郎様からも「あいさつをいただき、NUPRIの活動について力強いご提言をいただきました」。

活動報告の後、長野市出身で国際山岳医の大城和恵氏の講演会を実施。ユーモアを交えたお話では笑い声も聞こえるなど、和やかな雰囲気になりました。

理事長あいさつ

膨大な情報の中から、正しいもの
を取捨選択する力が大事

市村次夫理事長



皆様には、日頃よりNUPRIの活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、先般の土曜日、私は親しい人たち10人と連れだって野沢温泉へスキーに行つてまいりました。事前に全員が抗原検査を受け、陰性を確認したうえで参加しました。そして、スキー場に着いてまず何をやったかというと、マスクを外して思いっきり会話を楽しみました。その時に感じた

のは、大人数で自由にディスカッションできるということ、なんとという贅沢なことだろうかというものでした。

それにしても、この1年間の新型コロナウイルスについてのマスコミ報道を見て、私は重要な情報が伝わっていないことを痛切に感じております。例えば、昨年9月には、感染期間は発症前2日と発症後2日都合5日程度で、時間が経つにつれて感染力が弱まってくるのがわかっていました。ところが、この重要な情報が国民に浸透しないどころか、発症後10日以上経ったコロナ患者でさえ受け入れない一般病院が出てきて、医療崩壊が起きるといふ噂が広まりました。欧米は日本の10倍以上の患者が発生していますが、医療崩壊など起きていません。日本は、優先度の低い情報だけを毎日垂れ流して、重要な情報を公開しない。その状況に、いらだちすら感じております。

コロナ禍の中、NUPRIも活動を自粛せざるを得ない1年でしたが、昨年12月の「わいがやサロン」をはじめ、本日の全体懇談会においても、世間に流布する情報に惑わされず、こんな時だからこそ、あえて開催を決行した次第です。そうした事務局の判断にご理解をいただき、改めてこの天候の悪い時にご参加いただきましたことに感謝申し上げます。

各部会活動実績と 今後の活動の予定

■産学連携部会

高専・長野県立大学との プロジェクト

鷲澤副理事長

長野高専との連携を良好に保ち、各企業と高専の学生とのプロジェクトを推進していこうと話し合いを行ってきました。引き続き、各企業の課題解決と学生の能力向上を図るため、検討・交渉を行っていきます。また、高専については専門領域で技術系の学生がほとんどのため、長野県立大学とも協力ができないかと模索しているところですが、今後は、高専、長野県立大学ともにプロジェクトに参加できる環境を作っていこうと考えております。



■花遊歩く牛に引かれて 善光寺参りく

来年こそ、開催を！

鈴木事務局次長

牛に引かれて着物姿の女性陣が表参道を善光寺までパレードすることにより、地域の活性化・観光満足度の向上、リピーターを伴う観光誘致につなげることを目的に行ってきた花遊歩は、令和2年5月4日に行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でやむなく中止となりました。令和4年は御開帳もあり、善光寺との兼ね合いを考えながら、開催したいと思っています。



■いっしょ掘れ！長野調査隊

写真で見る長野の新たな一面

竜野調査隊長

例年ですと毎年9月から10月頃に開催していましたが、コロナ禍で延期となり、



今年には講演会形式で1月26日に行いました。「見慣れた街、見知らぬ表情」をテーマに、講師には清水隆史さんをお招きしました。清水さんは、長野商工会議所の会報誌で同じテーマの連載を続けており、その中から20枚の写真を厳選してお話いただきました。さらに、ここ掘れ！のネタとして廃校巡りのご提案もいただき、今年コロナが終息するようでしたら、ぜひ企画したいと考えています。皆さん、ぜひお楽しみください。

■わいがやサロン

大成功に終わった講演

岩野事務局次長

昨年は、コロナの影響で残念ながら2回の開催に終わりました。10月22日に「新型コロナウイルスと経済を考える」という演題で、小澤吉則さんにお話を伺いました。通常は事務局での講演ですが、安全を配慮して犀北館での開催となりました。

た。12月8日には、恒例となった「クリスマス Jazz & Bossa ナイト」でAOVIVO（アオ・ビーヴォ）の皆さんに来ていただきました。その折に、新しい試みとしてYouTubeを配信させていただきました。NUPRIでもYouTubeなど様々な配信を考えながら、今後も続けていきたいと思っています。長野におられる知識人の発掘もしていきたいと考えていますので、講師のご推薦がございましたらぜひお申し込みいただきたいと思います。



■新産業創出部会

農業を通して観光振興を継続

竹内部会長

グラウンドハイツ表参道式番館プロムナードで毎週月曜日午後12時から開催していましたが「採れたて野菜市」は、昨年4月末で終了しました。当初は空き家が多く、人通りが少なかったのですが、最近では表参道と名前が変わり、道路東側は

空き家がなく、西側は空き家が2〜3軒と少なくなり、歩行者も増加し、八百屋もでき、消費も拡大されました。当初の目的である地域活性化を図り、地域住民の利便性を図ることが達成され、また出店者も少なくなってきましたので取りやめとなりました。

りんごの木のオーナー制度は、昨年11月14日に21回目を迎えました。90名の方々が参加され、観光振興面での効果も大きく、今後も継続・発展させていきます。さらに、お米の生産・販売も行い、「三水米」として好評な売れゆきです。

■スポーツ振興活動部会

●AC長野パルセイロ応援活動

スポーツが街を、人を元気にする

鷲澤副理事長

2020年のAC長野パルセイロトップチームはJ3の3位となり、レディースチームはなでしこ2部リーグの5位で終わりました。新型コロナウイルスの影響を受け、J3全体で入場者数が昨年比5割まで落ち込む中、トップチームは約8割と踏ん張り、今季の2449人はJ3では岐阜に次ぐ2番目の多さとなりました。2021年は「挑戦の年」と位置づけて、地域の皆様に元気の源をお届けすべく、1試合1試合、勝利を目指し、ひたむきに全力で戦っていくとことです。NUPRIとして、「スポーツが街を、人を

元気にする」というスローガンのもと、2021年度もトップチームはJ2昇格レディースチームは新設の女子プロリーグ「WEリーグ」に参戦と期待し、応援していきます。

●地域野球クラブ「信越硬式野球クラブ」

地域スポーツ文化の発展を目指して

榎本会員

今年度は残念ながらチーム最大の目標である都市対抗野球大会に出場できませんでした。チーム所属の26名は県内企業16社に所属し、社会人野球の精神に基づき、仕事と野球の両立を図りながら、「地域に愛され親しまれる市民球団」を目指しています。さらに、野球を通じた社会貢献活動の一環として「少年野球教室」等を開催し、青少年の育成、地域スポーツ文化の発展にも取り組んでいます。NUPRIとしては、今までと同様に「信越硬式野球クラブ」を応援していきます。

■公開講演会開催事業及び6月のNUPRI定時総会

広い知見を持った識者を招聘

鈴木事務局次長

6月の定時総会、2月の全体懇談会において、様々な方を講師に招き、講演会を開催しております。今回の大城和恵氏に続いて、この6月にも皆さんに楽しんで

でいただくために今からある著名人にアプローチをかけているところです。ぜひこういう方のお話を聞きたいという要望がありましたら、私なり事務局にお寄せください。魅力的なNUPRIを作っていくためにも頑張っていきたいと思っております。



来賓の日本銀行松本支店長 大川真一郎様より、
ごあいさつをいただきました。

日本銀行松本支店長 大川 真一郎氏

私の出身は神奈川県で、正直な話、長野県に地縁は全くございません。今の心境は何でも見てやろうということで、虚心坦懐にいろいろなところを見て、いろいろな人の話を聞き、自分がこれまで得てきた仕事上あるいはプライベートでの経験をブレンドさせて何かを発信、あるいは受信していければと思っております。

私のキャリアで印象に残っているのは、ワシントン事務所でのトランプ政権の対応に当たったことです。政治の世界では無名であった当時のトランプ氏を理解・掌握するために、ワシントンに駐在する日系企業が「ジャパン」という形で一致団結しました。このいざという時の団結力がいかに力を発揮するか、今も鮮烈に思い出されます。1足す1は2ではなく、3の力を生むこともあるのです。

松本に赴任する前に信州の統計を調べて、移住したい都道府県ランキング1位であること、またコロナ前にインバウンド需要が拡大したことも知りました。観光客は、生活に根ざした地域の文化に魅力を感じ、それがリピーターにつながるのだと思います。加えて、アメリカ始め、多くの国や企業が取り組み効果を挙げてきているように、発信力に重点を置いてSNSなどで継続的に発信することが重要だと思えます。自然や生活文化など魅力ある場所はたくさんありますが、発信力の違いで差がついてくるという状況をアメリカで見えてきました。私が経験したことなど、何かお役に立てることがあるのであれば嬉しく思います。今後もよろしくお願いいたします。

事務局より

長野市長 加藤久雄様より
電報をいただきました。

NPO法人長野都市経営研究所の全体懇談会のご開催を心からお慶び申し上げます。ウイズコロナを前提とした社会の構築には、皆様方の継続的研究と挑戦が不可欠です。関係各位の並々ならぬご尽力に敬意を表しますとともに、ご参加の皆様方の一層のご検討とご活躍をお祈りいたします。

長野市長 加藤久雄